

特定非営利活動法人ジャパンハートクラブ
平成 18 年度事業報告書

1. 学術集会の開催等による健康増進活動・循環器疾患の予防に関する研修事業
 - A) 一般向けおよび医療者向けセミナー開催
 - 1) 府中 NPO ボランティア祭りに参加（運動教室及び公演を実施）

参加者 25 名（会員 3 名、メディックスクラブ会員 15 名、非会員一般 10 名、非会員医療従事者 4 名）（府中支部）
 - 2) 第 2 回八王子心臓リハビリテーションカンファレンス（平成 18 年 8 月 9 日/八王子支部）

症例報告
特別講演「心臓リハビリテーションにおける臨床心理士の役割」
小松洋先生（東海大学医学部付属八王子病院 臨床技術部 臨床心理士）
参加者：医師・コメディカル 30 名
 - 3) 高尾山に登る会（平成 19 年 4 月 8 日/八王子支部）

参加者：JHC 会員を中心に 15 名
 - 4) メディックス講演会「あるキング」（平成 18 年 4 月 16 日）「ハイキング」（平成 18 年 10 月 22 日）

参加者 118 名（会員 13 名、メディックス会員 12 名、非会員一般 4 名、非会員医療関係者 4 名）（いずれも大阪支部）
 - 5) 宮城心臓リハビリテーション研究会、新聞社主催の講演会参加、新聞記事での活動紹介（仙台支部）
2. 学術誌及び図書等の発刊による健康増進活動・循環器疾患の予防に関する普及広報事業
 - A) 一般向け広報誌発行
 - ・ ハートフル 3 号 5000 部発行（平成 18 年 7 月）
 - ・ 一般向け教材「ハフトゥー心臓リハビリ」DVD 作成 500 部（平成 19 年）
一般市民ならびに医療関係者に配布
3. 運動療法・心臓リハビリテーションの教育研究及び実践組織の運営
 - A) メディックスクラブ運営

メディックスクラブ支部に八王子支部、東京支部会場として巣鴨、虎ノ門が新設された。

現在、東京（千駄ヶ谷、巣鴨、虎ノ門）、府中、八王子、仙台、大阪、北九州の 6 支部 9 会場の総数は、新規入会者数 70 名（男性 56 名、女性 29 名）を含めメディックスクラブ会員総数は 192 名（男性 131 名、女性 61）延べ開催回数 334 回、延べ開催参加者 2,926 名であった（各支部の詳細は別紙参照）。MC 会員平均年齢は男性 66.3 歳（前年度 67.0 歳）、女性 69.4 歳（前年度 69.3 歳）であった。

4. 健康増進活動及び循環器疾患の予防に関する調査研究
 - A) メディックスクラブ参加者の予後調査継続
 - B) ホルター心電図による「無症候性不整脈の頻度の検討」
ホルター解析業務を受託し、そのデータから無症候性不整脈について調査、健康増進活動への活用を検討中。

5. 運動療法・心臓リハビリテーション指導者の教育に関する事業
 - A) 指導士向けセミナー開催
 - 1) 第17回運動処方講習会（平成18年6月17日 於：札幌）
テーマ「新しい枠組みの中での心臓リハビリテーション」
講師：長山雅俊（榊原記念病院） 牧田茂（埼玉医科大学） 沖田孝一（浅井学園大学） 大宮一人（聖マリアンナ医科大学） 安達仁（群馬県立心臓血管センター） 小池朗（心臓血管研究所） 伊東春樹（榊原記念病院） 田嶋明彦（心臓血管研究所付属病院） 前田知子（榊原記念クリニック）
参加者：医師・コメディカル 82名
 - 2) 第18回運動処方講習会（平成18年11月3日 於：東京体育館）
テーマ「新しい枠組みの中での心臓リハビリテーション」
講師：長山雅俊（榊原記念病院） 小山照幸（東京都リハビリテーション病院） 木村穰（関西医科大学心臓血管病センター） 大宮一人（聖マリアンナ医科大学） 安達仁（群馬県立心臓血管センター） 小池朗（心臓血管研究所） 伊東春樹（榊原記念病院） 田嶋明彦（心臓血管研究所付属病院） 前田知子（榊原記念クリニック）
参加者：医師・コメディカル 131名
 - 3) 第6回心臓リハビリテーション指導士向けセミナー
「安全管理とAED講習会」（平成18年6月17日 於：札幌）
参加者：医師・コメディカル 15名
協力：日本光電株式会社
 - 4) 第7回心臓リハビリテーション指導士向けセミナー
「安全管理とAED講習会」（平成18年11月3日 於：東京体育館）
参加者：医師・コメディカル 34名
協力：日本光電株式会社
 - 5) 第2回 Honolulu・心臓リハビリテーション・ワークショップ
（埼玉支部：牧田茂/佐藤真治担当）
（平成19年2月25日から3月1日 於：ハワイ・Honolulu）
プログラム）
 - ・ 日系ハワイ人を対象とした大規模疫学研究の成果を基にメタボリックシンドロームに対する治療戦略を考える。（講師：Dr.B.Rodriguez,MD,PhD,Pacific Health Research Institute）
 - ・ 慢性腎疾患CKDと運動に関する最近の知見から”Renal Rehabilitation”

の新たな可能性を討論する。(講師:Dr.Nakaya Saito,MD.,ハワイ大学医学部)

・ メタボリックシンドロームにおける遺伝子発現 (Gene-gene interaction) のしくみや環境要因 (Gene-environment interaction) との関連を理解する。(講師:Dr.Katsuhiko Yano,MD., Pacific Health Reseach Institute)

・ 米国の肥満外来プログラム、循環器病棟を見学する(於:クィーンズ・メディカルセンター)

参加者:医師・コメディカル 16 名

6) 運動処方講習会アドバンストコース CPX2006

(平成 18 年 8 月 2 日 於:関西医科大学)

講師: Kalman Wasserman(Harbor-UCLS Medical Center)、Donna Mancini(Columbia Univ.Medical School)、Franz X.Kleber(Charite medical School,Int.Medicine ukb academic teaching hospital)、安達仁(群馬県立心臓血管センター)、木村穰(関西医科大学)、伊東春樹(榊原記念病院)

参加者:医師・コメディカル 96 名

B) 第 3 回運動処方教育デモンストレーション

日本心臓病学会と提携(平成 18 年 9 月 於:鹿児島)

第 4 回運動処方教育デモンストレーション

日本循環器学会と提携(平成 19 年 3 月 於:神戸)

C) 第 23 回小倉ライブ心リハ教育コースランチョンセミナー(平成 19 年 4 月 於:小倉)

D) 心臓リハビリテーション指導士向け

1) 第 28 回運動処方研究会講演会(平成 18 年 8 月 4 日 於:榊原記念病院)

“How to evaluate the severality of heart failure and its management.”

Prof. Mancini

参加者:医師・コメディカル 35 名

2) 第 29 回運動処方研究会講演会(平成 18 年 11 月 24 日 於:榊原記念病院)

“Common strategies of cardiovascular prevention. Molecular mechanisms and clinical outcomes.”

Prof. Kojda

参加者:医師・コメディカル 52 名

3) ヨーガ呼吸法の理論と実際(平成 19 年 3 月 27 日、於:榊原記念病院)

白石豊先生(福島大学教授)

参加者:医師・コメディカル 35 名

6. 国内外の関係学術諸団体との提携

「循環器専門医と市民が集う早朝ウォーキング」(事業名称)として、以下の事業目的に基づき、各学会と提携した。

<事業目的>

循環器病とはじめとする生活習慣病予防には、日頃の定期的な運動が重要である。一次予防としての運動を市民に普及させるため、手軽なウォーキングの実践指導を通じて、正しいやり方を理解していただく。ウォーキング指導の場として、全国の専門医を中心とした医療関係者が一堂に会する学会を選んだ。循環器医の運動療法への理解と開催場所の市民との交流の場を提供する。

- A) 心リハ学会員と市民が集う早朝ウォーキング（平成 18 年 7 月 9 日）
於：名古屋 日本心臓リハビリテーション学会と提携（日本財団助成金事業）
参加者：20 名
- B) 循環器専門医と市民が集う早朝ウォーキング（平成 18 年 9 月 26 日）
於：鹿児島 日本心臓病学会と提携（日本財団助成金事業）
参加者：約 36 名（一般 20 名、医師 11 名、コメディカル 5 名）
・ 鹿児島市報が取材、および地元テレビ局にて当日放映された。
- C) 循環器専門医と市民が集う早朝ウォーキング（平成 19 年 3 月 17 日）
於：神戸 日本循環器学会と提携（日本財団助成金事業）
参加者：97 名
- ・ 神戸市より先着 100 名に参加賞、NPO 法人神戸アスリートタウンクラブより抽選で商品、NPO 法人 JHC より「心リハ体操」DVD×20 本を寄贈した。
 - ・ 神戸市と神戸アスリートタウンクラブが推奨する IC ウォークを実施
 - ・ 学術集会ニュースフラッシュ 1 にて掲載、神戸市報の取材を受けた。

以上

平成 19 年 5 月 1 日

特定非営利活動法人ジャパンハートクラブ
理事長 濱本 紘